

第2回 事業所支援チーム実行委員会

日時 令和4年5月31日（月）

午後6時

場所 4-3会議室

1 あいさつ

2 今後のスケジュール

(1) 本年度の実施事業について

予算としては約 238,000 円

たたき台として別紙資料を参考にし、意見を出し合う。

①対象②対象人数③要件④選出方法⑤名称⑥記念品等

【意見】

・永年勤続という言葉が前回の委員会の意見内容（永年というよりは永年勤務してもらえ
るな年歳・勤務年数の方に表彰する）とはマッチしないのではないかと。若い人の働きの励
みになるように。というところからも名称を変更してはどうか。

・アンケートの内容でも永年勤続にこだわらず、要所所でこれからの励みになるように、
というところを重視していた。若い人のステップアップにつながるような表彰でよいの
ではないか。

・「永年」という言葉をネット等で調べてみたところ、永い年月とあった。また、他県、
市町の状況も調べたが、やはり〇〇県 〇〇市 永年表彰 というタイトルがあった。

「永年勤続表彰」だと、実行委員会で考えている内容とはやはりずれてきてしまうため
永年勤続していただけるようなという内容に変更したらよいのではないかと。

・表彰の目的がこれからの方の励み、モチベーション、今後も頑張ってもらいたい。というこ
ところである。目的を明確にしていくとよい。

・「新都市を支えてほしい」ここを評価していきたい。

⇒実行委員としての表彰の案を推進会議へ意見として提出したら変更は可能か？→可能

①対象について

・転職をして就職してくる方もいる。年齢を限定せず勤続年数の方がよいのではないかと。

・なるべく若い方対象にしたらよいのではないかと。

・対象者職業をどこまで広げるか。

②対象人数

・市長から直々に表彰をいただくことを考慮すると15人くらいがよいのではないかと。

・人数が多ければ多い方が若い人への励みになるのではないかと。

・対象を15人にすることで、一人あたりに対する金額が増えるのではないかと。

→対象人数を15名とする。

③要件

- ・たたき台にある、「利用者に対する対応が優れている」「新人職員、後輩職員への指導・助言に携わり、チームワーク向上に貢献している」「仕事に積極的に取り組んでいる」等の要件はとても良いと思う。

→要件を5年以上勤務している方とする。

④選出方法

- ・事業所にアンケートを取ってみるのもよいのではないか。

→要件を伝え、各事業所で選出してもらう。

⑤名称

- ・オリジナルなネーミングがよい、あまりかたくないものがよい。
- ・キラリ新城福祉賞、良いと思う。

→今後検討していく。

⑥記念品等

- ・新城福祉オリジナルなものがよい。案のものは事業所にとっても良いと思う。
- ・一人5000円位になるのではないか。

◆表彰方法、場所

- ・大ホールの使用料は高い。イメージとしては小さいところから大きくしていくのがよいのではないか。
- ・大会議室（130名収容）を使う方向で進んでいる。

（2）令和5年度に実施したい事業について

【意見】

①就職祝金

- ・前回の委員会では就職祝金に決めたが、就職祝金は就職した人は嬉しいが頂いてすぐやめてしまったらもともこもない。少し働いてからでよいのではないか。
- ・資格取得への補助金ならば、本人も事業所も嬉しい。

②資格取得への補助金

- ・資格取得に対して市からの助成制度があるとよい。自己負担で取得する人が多いので補助があれば資格取得を目指すことへ繋がるのではないか。このことから、仕事の質が上がり、より良い人材育成へと繋がり、利用者へのよりよい支援へと繋がる。
- ・事業所によっては資格手当が給料にある。そのことから資格を取りたいと思う人はいるが、取得にはお金がかかる。頑張っている人、頑張ろうとしている人を応援したい。
- ・資格について 福祉課より愛知県社会福祉協議会の事業内容について説明

- 「精神保健福祉士」「介護福祉士」「社会福祉士」等ある。
- ・ 県社協の資格取得支援もある。

3 アンケート調査結果について

- ・ 福祉課より説明